

# 平成28年（2016）11月 入域観光客数概況

11月の観光客数は、65万200人  
対前年（H27）同月比 +3万600人、+4.9%  
～11月の過去最高を更新、50ヶ月連続で前年同月を上回った～

## 入域状況

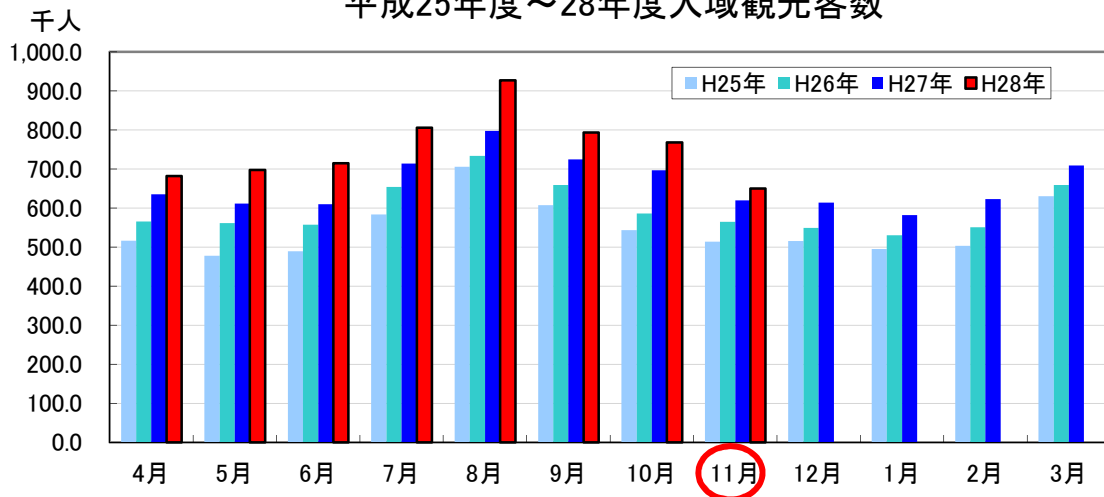
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	540,000 人	506,200 人	+ 33,800人	+ 6.7%	83.1%
外国客	110,200 人	113,400 人	△ 3,200人	△ 2.8%	16.9%
合計	650,200 人	619,600 人	+ 30,600人	+ 4.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	540,000 人	506,200 人	+ 33,800人	+ 6.7%	84.0%
外国客	103,100 人	101,000 人	+ 2,100人	+ 2.1%	16.0%
合計	643,100 人	607,200 人	+ 35,900人	+ 5.9%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

11月は、各旅行会社における旅行商品の販売状況が好調だったことや、冬季の運航計画において、各航空会社による航空路線の拡充が夏季から継続していること等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、引き続き、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開や、販売取り組み強化の動きがあること、航空路線の拡充が継続すること等から、堅調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

11月は、今年度に入って、新規就航等による航空路線の拡充が継続している台湾・韓国を中心に空路客が増加したものの、海路客は、冬場に入りクルーズ船の寄港回数が減ったこと等により、中国を中心に減少し、全体として平成25年7月以来、3年4ヶ月ぶりに前年を下回った。

また、シンガポールー那覇間チャーター便が好調で、同国からの入込増加に寄与した。

12月は、韓国・釜山ー那覇路線の増便があることや、引き続き、シンガポールー那覇間チャーター便が予定されていること等により、空路客を中心に堅調に推移する見込み。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	267,100 人	248,200 人	+ 18,900人	+ 7.6%	49.5%
関西方面	104,000 人	98,400 人	+ 5,600人	+ 5.7%	19.3%
福岡方面	71,100 人	67,600 人	+ 3,500人	+ 5.2%	13.2%
名古屋	46,100 人	40,700 人	+ 5,400人	+ 13.3%	8.5%
その他	51,700 人	51,300 人	+ 400人	+ 0.8%	9.6%
合計	540,000 人	506,200 人	+ 33,800人	+ 6.7%	100.0%

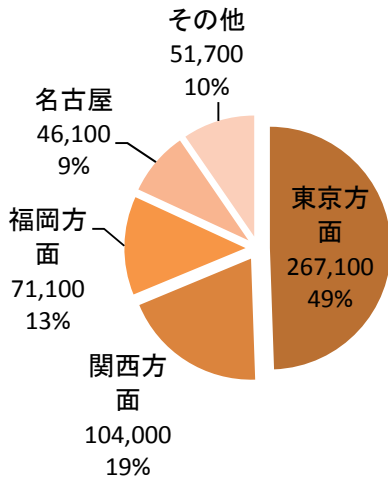
※国内海路客2,700人を含む(鹿児島2,000人、横浜700人)

## 外国客 国籍別入域状況

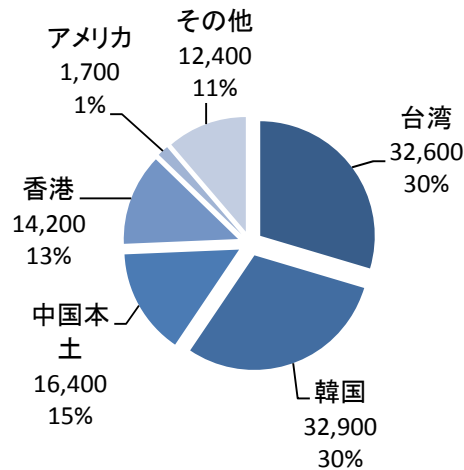
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	32,600 人	32,600 人	30,400 人	+ 2,200人	+7.2%	29.6%
韓国	32,900 人	32,900 人	26,900 人	+ 6,000人	+22.3%	29.9%
中国本土	16,400 人	16,400 人	22,200 人	△ 5,800人	△26.1%	14.9%
香港	14,200 人	14,200 人	12,800 人	+ 1,400人	+10.9%	12.9%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	2,100 人	△ 400人	△19.0%	1.5%
その他	12,400 人	5,300 人	19,000 人	△ 6,600人	△34.7%	11.3%
合計	110,200 人	103,100 人	113,400 人	△ 3,200人	△2.8%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	24,600 人	24,600 人	+15.5%	27.4%	8,000 人	8,000 人	△12.1%	39.0%
韓国	32,900 人	32,900 人	+22.3%	36.7%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	12,600 人	12,600 人	△2.3%	14.0%	3,800 人	3,800 人	△59.1%	18.5%
香港	13,000 人	13,000 人	+1.6%	14.5%	1,200 人	1,200 人	皆増	5.9%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+30.8%	1.9%	0 人	0 人	皆減	0.0%
その他	4,900 人	4,900 人	△7.5%	5.5%	7,500 人	400 人	△45.3%	36.6%
合計	89,700 人	89,700 人	+11.4%	100.0%	20,500 人	13,400 人	△37.7%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

11月は、各航空会社による羽田及び成田路線の提供座席数が大幅に増加したことや、旅行商品の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、引き続き、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開・販売取り組み強化の動きや、各航空会社による航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

### 大阪

11月は、修学旅行が良好であったことや、伊丹及び神戸－那覇や、関西－宮古路線の入込が伸びたこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

### 福岡

11月は、各旅行会社において個人・団体ともに旅行商品の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。

12月は、各航空会社の予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること、九州各地域からの宮古直行チャーター便が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

### 名古屋

11月は、各旅行会社において団体を中心とした旅行商品の販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、団体旅行を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

### 台湾

11月は、復興航空の台北－那覇路線の運休や、冬場に入ってクルーズ船の寄港回数が減ったものの、引き続き、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線が拡充したこと等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。

12月は、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

### 韓国

11月は、個人旅行商品の販売状況が良好だったことや、チェジュ航空の釜山－那覇路線再開を含む航空路線の拡充等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。

12月は、国内情勢の影響が懸念されるものの、冬休みの旅行需要の高まりに加えて、各航空会社による販売取り組み強化の動きがあることや、アジアナ航空及びジンエアーの釜山－那覇路線の増便があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

### 中国本土・北京

11月は、他方面との競合や、天津－那覇路線の欠航を含む航空路線の縮小による影響があったこと等から、前年を下回った。

12月以降は、正月の旅行需要の高まりや、1月から中国国際航空の天津－那覇路線の運航再開が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

### 中国本土・上海

11月は、個人旅行商品の販売状況は良好だったものの、冬場に入ってクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

12月以降は、他方面との競合が懸念されるものの、正月の旅行需要の高まりや、上海及び舟山発クルーズ船の寄港予定があること等から、堅調に推移する見込み。

### 香港

11月は、個人旅行を中心に良好だったこと、前年同月に比べて航空路線の拡充や香港発クルーズ船の寄港があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

12月以降は、クリスマス・正月の旅行需要の高まりや、ホエールウォッチング等のオプション付き旅行商品販売が良好であること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。